

会議録

会議の名称	第2回加東市地域公共交通活性化協議会																								
開催日時	平成27年5月28日（木）午後2時～午後3時30分																								
開催場所	加東市役所 2階 201会議室																								
<p>議長の氏名（会長 土井 勉）</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p><出席委員></p> <table border="0"> <tr> <td>・畑岡 孝弘</td> <td>・齋藤 慎一郎</td> <td>・藤本 昭宣</td> <td>・中澤 秀明</td> </tr> <tr> <td>・細見 浩司</td> <td>・上畑 光生（代理）</td> <td>・太田 吉哉</td> <td>・宇仁菅 悟</td> </tr> <tr> <td>・安田 誠</td> <td>・丸山 良機</td> <td>・岸本 耕一</td> <td>・大西 英彦</td> </tr> <tr> <td>・芹生 昇</td> <td>・岸本 吉博</td> <td>・高瀬 菜美</td> <td>・竹内 圭一</td> </tr> <tr> <td>・吉本 剛典</td> <td>・兒山 真也</td> <td>・芹生 修一</td> <td>・中村 隆文</td> </tr> <tr> <td>・橋本 匡史</td> <td>・吉村 進吾</td> <td>・小林 吉人</td> <td>・田中 和美</td> </tr> </table> <p><欠席委員></p> <p>・友藤 富士子</p> <p><オブザーバー></p> <p>・兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課</p>		・畑岡 孝弘	・齋藤 慎一郎	・藤本 昭宣	・中澤 秀明	・細見 浩司	・上畑 光生（代理）	・太田 吉哉	・宇仁菅 悟	・安田 誠	・丸山 良機	・岸本 耕一	・大西 英彦	・芹生 昇	・岸本 吉博	・高瀬 菜美	・竹内 圭一	・吉本 剛典	・兒山 真也	・芹生 修一	・中村 隆文	・橋本 匡史	・吉村 進吾	・小林 吉人	・田中 和美
・畑岡 孝弘	・齋藤 慎一郎	・藤本 昭宣	・中澤 秀明																						
・細見 浩司	・上畑 光生（代理）	・太田 吉哉	・宇仁菅 悟																						
・安田 誠	・丸山 良機	・岸本 耕一	・大西 英彦																						
・芹生 昇	・岸本 吉博	・高瀬 菜美	・竹内 圭一																						
・吉本 剛典	・兒山 真也	・芹生 修一	・中村 隆文																						
・橋本 匡史	・吉村 進吾	・小林 吉人	・田中 和美																						
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <p>・技監 一宮 大祐</p> <p>・協働部企画協働課長 長谷川 茂</p> <p>・協働部企画協働課副課長 前中 公和</p> <p>・協働部企画協働課主幹 三和田 剛浩</p>																									
<p>1 議 題</p> <p>(1) 加東市生活交通確保維持改善計画（案）について</p> <p>(2) 自家用有償旅客運送事業見直し（案）について</p> <p>(3) 市民ワークショップについて</p> <p>2 会議資料</p> <p>・加東市生活交通確保維持改善計画（案）</p> <p>・自家用有償旅客運送事業見直し（案）について</p> <p>・公共交通について考える市民ワークショップについて（案）</p> <p>3 会議の経過</p> <p>⇒別紙「第2回加東市地域公共交通活性化協議会・会議の経過」のとおり</p>																									
<p>会 長 土井 勉</p> <hr/> <p>副会長 大西 英彦</p>																									

(別紙) 第2回加東市地域公共交通活性化協議会・会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p>1 開会 事務局 2 協議</p>
	<p>(1) 加東市生活交通確保維持改善計画(案)について 事務局から説明</p>
会長	<p>【質疑応答等】 現在、運行している系統であるので、利用実績を系統別に教えてほしい。それと収支だけを言うわけではないが、どれくらい収支実績があるのか。</p>
事務局	<p>計画にある目標人数が書かれているが、その数字の持つ意味を教えてほしい。</p>
事務局	<p>①4.5人 ②0.3人 ③8.8人 ④1.3人が現在の実績である。人数的には目標に達していない路線がある。これについては、市民の方に周知を行い、目標値に達するよう取り組んでいきたい。①増えている ②③④は変わりなし。収支については、運行経費が概算で約1300万、運賃等収入が250万で、欠損額の2分の1である国庫補助が500万を超えるという状況である。</p>
会長	<p>目標に到達しなかった場合はどうするのか。</p>
事務局	<p>利用促進に取り組んでいるが、まだ周知が足りないと思われるので、今後もさらに取り組んでいきたいと考えている。</p>
委員	<p>天神から社三田線へ接続している神姫バスとの連携はどうなっているのか。また、松沢から小野市へ行く分については連携はどうか。</p>
事務局	<p>こちらについては、天神電鉄小野駅線を基に天神の停留所で社三田線と接続するようダイヤ設定をしている。市内のみを循環している部分については、通院・買い物等に利用していただけるよう設定している。</p>
会長	<p>小野方面への移動については、朝と夕方のみで、天神から社方面を経由して、小野方面への利用ということをお願いしている。</p>
委員	<p>乗合バスは乗っていただかないと意味がない。少ない人数であればもう少し違う形態ではどうかを検討する必要がある。</p>
事務局	<p>南山地区は中心から離れている箇所であるが、合理性を考えた時に、この路線を拡充する意図が少しわかりにくいと感じた。</p>
事務局	<p>南山については加東市で最も人口増加が著しい地区であるが、路線バスが通っておらず、地元の方から要望があった地区であるためルートに入れている。経費については、運賃収入は過去からの利用状況等から勘案し、広告等の営業外収益を加え、運行経費約1300万から控除した分が欠損額となる。本来それを市が補てんすることになるが、国の補助制度を活用し、昨年に引き続き申請する。また、今後については、現在、地域公共交通網形成計画を策定中であるので、こちらの見直しも含めて検討していきたい。</p>
委員	<p>東条湖おもちゃ王国などはほとんどマイカーでしか行けない状況であると思うが、そういった民間と連携を取ることは考えられないのか。また、先ほどの松沢で止まる路線が小野市に行かないのはなぜか。小野のらんらんバスと連携を取ることを検討できないのか。</p>
事務局	<p>民間との連携については、今後の交通体系を考えていく上で考えていきたい。小野市への移動については、現段階では連携できていない現状である。出来る限り接続がスムーズになるよう今後の検討課題とさせていただきたい。</p>
委員	<p>電鉄小野駅からもう少し西に行けばJR加古川線がある。そちらを利用するという選択肢はないのか。</p>
事務局	<p>今回ご提案させていただいている路線の主な利用者は、小野高校、小野工業高校へ通学する高校生が主である。JRの利用については、天神での乗継ということにはなるが、そこから社方面への路線バスも通っているのので、そちらを利用して欲しい。</p>
会長	<p>この計画における目標数値とは別に、今後見直し基準を定める必要があると思う。出来るだけ早い段階でその基準を定め、見直していくということで、今回はこの計画を承認していただくということでどうか。</p>

	(拍手により承認)
	(2) 自家用有償旅客運送事業見直し(案)について 事務局から説明
会長	きよみず線については、これまで路線バスと競合している部分は高齢者等のみ乗車可能という条件があったが、この度その条件が撤廃された。これには神姫バスに協力いただいたことによると認識している。
事務局	こういった事業は地区の方の善意によって成り立っている。しかし問題となるのは事故に対する補償である。安全対策についてどのように考えているのか事務局より説明願いたい。また、収支についても説明いただきたい。
委員	保険については、市の公用車ということで、対人、対物無制限の保険に入っている。それとは別に、運転手の方は安全運転講習会を自動車教習所で年一回行っている。また、安全運転についての周知は運行会議の中でも機会を捉えて行っている。運行に関する経費については、運転手手当、事務費、燃料代を含めて、年間70万円弱を委託という形で地区に支払っている。収入については20万円弱が収入ということで、その差額が市の補助であるという状況である。
事務局	もし、車両が事故や故障などで運行できなくなった場合はどうするのか。
会長	国に登録している車両しか利用できない。1台は地区で管理いただいているが、もう1台は市の公用車を登録している。もしもの場合はその分に対応するようにしている。
	では原案どおり承認いただけますでしょうか。
	(拍手により承認)
	(3) 市民ワークショップについて 事務局から説明
会長	【質疑応答等】 こういうワークショップを行うのは、市民の生の声というのが聞けるので大変良い試みであると思う。また、こういった機会は市民に公共交通を知っていただいて利用者を増やしていくという役割もあるので、ぜひ有意義なものになるよう期待している。
委員	交通行動調査を行われるということなので、コンサルタントと契約されると思うが、有効に活用していただきたいとともに、そのコンサルもワークショップに参加するようにしていただきたい。
事務局	大変重要な取組であるので、出来れば同じコンサルに委託し、一体的に考えていきたいと考えているので、その分については、会長と相談させていただいて、契約の方を進めて行きたいと思う。
委員	大変興味深い取組だが、平日昼間の開催では参加者が限られてしまう。土日などに開催する考えはないか。
事務局	日程については今後調整するが、現段階では学生や働いておられる方が参加できるよう休日の開催を予定している。
会長	ではこの内容について御承認いただけますでしょうか。
	(拍手により承認)
	3 閉会